

参考資料

- 1 長野県立歴史館のミュージアムグッズについて
- 2 令和5年度博物館機能向上学芸員チーム会議活動実績
- 3 令和5年度来場者アンケート数について
- 4 長野県立歴史館開館30周年に向けた広報活動について
- 5 県立歴史館のデジタル化に向けた取組について
- 6 令和5年度長野県立歴史館主な事業費の内訳について

長野県立歴史館のミュージアムグッズについて

R6. 7. 24 県立歴史館協議会資料

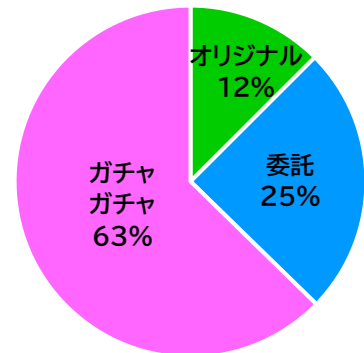
1 当館のミュージアムグッズについて

過去の来館者アンケートに「**歴史館のミュージアムショップには心をそそられるものがない**」という非常に厳しい意見がみられた。つまり、**歴史館に対する魅力や満足度が低下し、ニーズに応えられていない状況がある。**

①館内ショップの状況調査（令和3年度）

- ➡・当館のショップは年々規模（品数・売場面積）が縮小。
- ・販売商品の8割以上が委託販売品とガチャガチャ。
- ・オリジナル商品（実用品）はほぼない状況であった。

ミュージアムショップ
販売数比率
(H29～R03)



②新規事業の開始

他館の状況などを調査。当館オリジナルグッズを開発。
当館の商品のコンセプトは以下のとおり

- ➡・収蔵資料を活用した「**実用性**」ある**オリジナル商品**
- ・そこでしか買えないという「**限定性**」で差別化
- ・グッズを呼び水に、歴史館の**魅力度・認知度アップ**

2 これまでの開発商品と販売実績

① 令和4（2022）年度

【ポストカード（税込100円）】

- ・館蔵資料から16点を選定。各種150枚、計2,400枚を製作
- ・2022年10月から販売を開始。
- ➡2024年5月現在、全体数の約25%（620枚）を販売。

【トートバック（税込1,000円）】

- ・館蔵資料8点をイラスト化し、バックの色（ナチュラルとブラック）に合わせてデザインを変更。各種250枚、計500枚を製作。
- ・2023年3月から販売を開始。
- ➡2024年5月現在、全体数の約45%（224枚）を販売。



②令和5（2023）年度

【クリアファイル（税込200円）】

- ・館蔵資料から6点を選定。各種500枚、計3,000枚を製作。
- ・2024年3月から販売を開始。
- ➡2024年5月現在、全体数の約2%（53枚）を販売。



3 今後の開発商品

- ・完売商品（ポストカード及び数年前に製作したアルクマピンバッジ）について補充。
- ・新規商品として「アクリルキーホルダー」を計画。ガチャガチャを使用した販売を検討。

令和5年度 博物館機能向上学芸員チーム会議 実績

主管：塩沢館長、新津副館長

委員：◎水澤、○飯島、町田、林、柴田、白沢、石丸、花岡、鈴木

博物館機能向上学芸員チームは、学芸分野の諸活動に関して学芸員の専門的見地から諸課題の解決策や考え方を提示することにより、当館におけるシンクタンク機能を果たすとともに、適切な学芸業務の推進を牽引する役割を担い令和5年度発足した。初年度の主な活動実績は、委員会等からの検討要請に応じて6案件を審議・回答したことおよび、館職員やチームメンバーの自己研鑽活動として研修会を5回実施したことが挙げられる。

(1)令和5年度審議案件

	案件名	依頼日	依頼者	検討日	結 果
①	令和5年度職員研修会のあり方について	4/5	資料整備公文書管理委員会	4/25	研修内容に追加を提案
②	館内 IPM(総合的有害生物管理)のあり方について	7/13	資料整備公文書管理委員会	7/21	まとめ方の工夫、モニタリング調査と結果の可視化等を提案
③	展示解説アプリの仕様について	8/2	DX チーム	8/2	展示解説アプリの掲載コンテンツ案の修正を提案
④	免震ケース及び LED 照明整備のあり方について	9/1	総合情報課	9/4・9/15	将来を見据えた免震ケース更新・整備計画の策定を提案
⑤	長野県立歴史館の周知・広報のあり方について	9/3 11/7	管理部 広報チーム	～12/27	広報活動基本方針(案)について意見交換
⑥	長野県立歴史館常設展示のリニューアルのあり方について	12/13 2024 2/22	中長期ビジョン委	12/27 2024、2/22	当該委員会における R5 年度検討結果のまとめのうち常設展示リニューアルについて意見交換

所見 案件の種類としては、年度当初、館運営の課題等と部課・委員会の事業・活動に係る課題等を想定したが、どれも館運営の方向性に関わる事項であり、審議過程と回答内容はその都度部課長会で報告して情報を共有した。特に①、②、⑤は職員会で周知して館全体で情報を共有した。

(2)令和5年度実施研修

	研修名	タイプ	実施日	講師	備考
①	博物館学からみた長野県立歴史館	全体研修	4/12	水沢	PowerPoint 概論
②	当館の機能と課題	全体研修	4/12	塩沢館長	博物館法の読み合わせ等
③	博物館展示論	内部研修	7/7	水沢	講談社『博物館展示論』他
④	博物館資料保存論 (IPM)	内部研修	7/21	水沢	講談社『博物館資料保存論』
⑤	博物館学関連図書について	内部研修	3/8	水沢	今年度購入した博物館学関係最新書籍の確認

3 今後の課題

1つの案件に対してもっと掘り下げた議論を行えるよう、リーダーは適切なコーディネートを行い、メンバーも研鑽を積むよう、引き継いだ。

令和5年度 来館者アンケート数について

企画展

企画展名\年齢	小学	中学	高校	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未回答	計
春・至宝の名品（古文書編）	23	4	1	3	9	2	10	20	31	16	5	1	18	143
夏・古墳展	28	4	3	1	17	3	7	26	20	6	1	0	16	132
秋・やきもの展	9	2	1	1	3	6	6	13	14	9	7	0	11	82
冬・和田英展	10	4	3	0	4	5	12	15	19	42	12	1	25	152
合計	70	14	8	5	33	16	35	74	84	73	25	2	70	509 総合計

企画展名\居住地	県外	北信	東信	中信	南信	県内	未回答	計
春・至宝の名品（古文書編）	32	63	24	13	2	5	4	143
夏・古墳展	50	42	13	13	10	3	1	132
秋・やきもの展	17	39	12	10	3	1	0	82
冬・和田英展	9	103	20	3	10	3	4	152
合計	108	247	69	39	25	12	9	509 総合計

企画展名\きっかけ	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	ポスター・チラシ	旅行会社企画	家族・知人	遠足・社会見学	偶然	ホームページ	フェイスブック	ツイッター	その他	計
春・至宝の名品（古文書編）	4	37	29	1	35	7	23	5	8	4	20	173
夏・古墳展	1	14	33	0	47	2	22	3	5	3	14	144
秋・やきもの展	1	16	28	1	3	8	10	2	0	5	12	86
冬・和田英展	11	54	39	1	29	3	10	2	3	3	17	172
合計	17	121	129	3	114	20	65	12	16	15	63	575 総合計(複数回答)

常設展

年齢	小学	中学	高校	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未回答	計
合計	154	16	2	3	21	19	18	17	19	15	3	0	37	324 総合計

居住地	県外	北信	東信	中信	南信	県内	未回答	計
合計	92	131	34	16	6	27	18	324 総合計

きっかけ	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	ポスター・チラシ	旅行会社企画	家族・知人	遠足・社会見学	偶然	ホームページ	フェイスブック	ツイッター	その他	計
合計	16	15	27	2	119	20	30	38	2	3	57	329 総合計(複数回答)

長野県立歴史館 開館 30 周年に係る広報活動について

○新聞

- ・ 信濃毎日新聞「しなの歴史再見」
- ・ 信濃毎日新聞千曲支局による所蔵品の紹介（全 13 回）
※ 7 月 13 日（土）第 1 回
- ・ 春季展に係る各地での勉強会紹介
※ 5 月 9 日（木）市民タイムス、6 月 26 日（水）南信州新聞、
6 月 27 日（木）中日新聞

○ラジオ放送

- ・ FMながの「Best Style!」（7 月 12 日（金）担当出演）
- ・ 文化放送「峰竜太とみんなの信州」（8 月 3 日（土）担当出演）

○千曲市報 7 月号での広報

- ・ 30 周年の歩みと 30 周年企画展の紹介

○知事会見での広報

- ・ 7 月 5 日（金）知事会見へ笹本特別館長も出席して広報

○30 周年記念大看板

- ・ 8 月 7 日（水）川村龍洲氏揮毫による大看板のお披露目

県立歴史館のデジタル化について

収蔵資料のデジタルアーカイブ化を最優先課題として取組み始めている。

1 将来的展望

デジタルアーカイブによる

- ① 【文化財保存】収蔵資料の保存・管理上の観点による確実な現状把握
- ② 【資料の公共化】収蔵資料のHP でのネット検索の充実
- ③ 【資料の活用】アプリ等を活用した展示解説支援の導入

2 現 状

IBMUSEUM を使い収蔵資料のアーカイブ化を進めている。

種 別	点（件）数	公開状況
考古資料	約14 万8千点	HP 非公開、クラウドサーバーに不完全収録※現在整備中
文献史料	約30 万6千件	HP 公開済、クラウドサーバー収録済
その他歴史資料	約6019件	HP 非公開、館内サーバーに不完全収録※現在整備中

※点（件）数は暫定数。HP で公開するためには全てクラウドサーバーへ移行が必要

3 取 組

デジタルアーカイブ化に向けて、令和6年度から以下の業務に着手している。

- ① データベース項目の加除修正（整備）
- ② データベース登録資料属性の加除修正（必要項目の統一、確認等の整備）
- ③ 収蔵資料写真の収集、撮影
- ④ IBMUSEUM を使ったクラウドサーバーでの一元管理（サーバー移行）の検討
- ⑤ 展示解説支援システム、HP 公開フォーマットの検討

※①②③を重点的に進めており、公開の準備が整った段階で④⑤を実施していく

4 外部資金の検討

- ・補助金等の外部資金獲得を含めた検討を行っている。
- ・令和6年度事業として、昨年度「博物館機能強化推進事業 Innovate MUSEUM 事業」補助金を申請したが不採択。

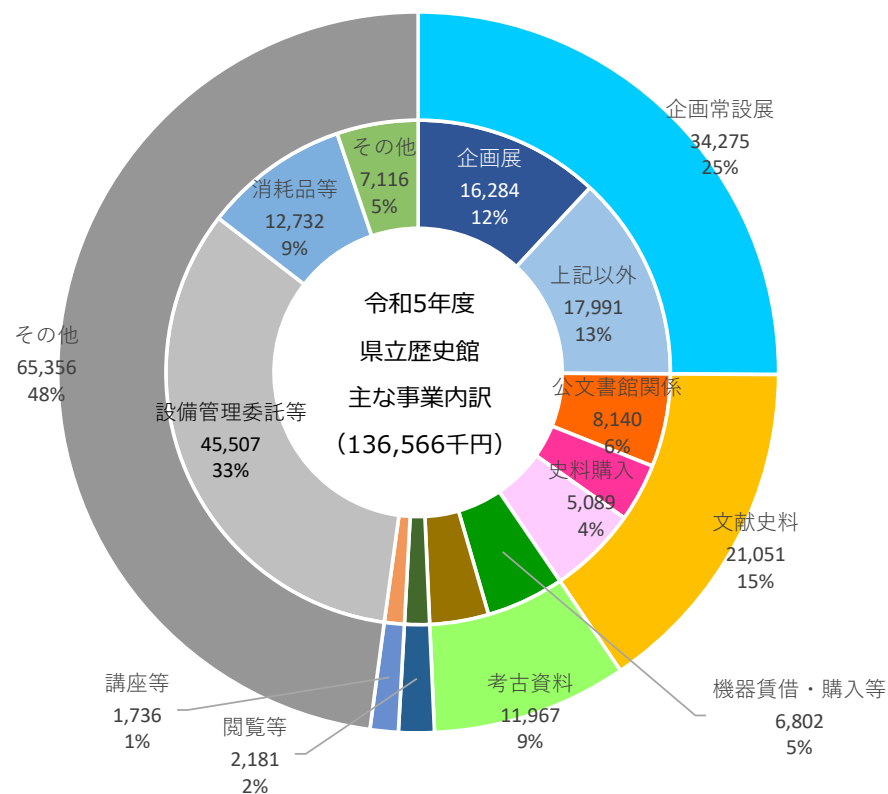
当館としては令和6年度、基盤となるデジタルアーカイブの整備強化を目標とし、補助金獲得にのぞんだが、文化庁からはデジタルアーカイブを担う人材育成や学校での活用の継続性といったデジタルアーカイブ整備後の活用計画が強く求められ、当館の令和6年度計画と齟齬を来す結果となり不採択となった。

令和5年度 長野県立歴史館 主な事業費の内訳について

(単位：千円)

R6.7.24 (水) 県立歴史館協議会資料

項 目	内 訳	合 計
企画常設展		34,275
企画展	16,284	
上記以外	17,991	
文献史料		21,051
公文書館関係	8,140	
史料購入	5,089	
その他	7,822	
考古資料		11,967
機器賃借・購入等	6,802	
消耗品等	5,165	
閲覧等		2,181
閲覧等	2,181	
講座等		1,736
歴史館講座等	1,736	
その他		65,356
設備管理委託等	45,507	
消耗品等	12,732	
その他	7,116	
合 計		136,566



(注) 令和5年度における総事業費(169,118千円)のうち、主要事業に係る136,566千円の内訳を記載。主要事業以外の主なものとしては、電気設備更新事業(13,750千円)等がある。